

■ キャンドル×ブックで都心部にスロウな空間を演出 ■ 100万人のキャンドルナイト・茶屋町スロウデイ 2017 関大生が梅田・茶屋町の街興しに参画

【日時】6月1日(木)18:00 ~ 22:00 【場所】梅田キャンパス前ほか 梅田・茶屋町エリア一帯

関西大学ではこのたび、6月1日(木)に梅田・茶屋町で開催される「1000000人のキャンドルナイト @OSAKA CITY 茶屋町スロウデイ 2017」に参加し、同地の街興しの一翼を担います。

◆本件のポイント◆

- ・有志のボランティア学生が、キャンドルスロウスポット(水無月の輝き)のデザインを考案・設置。
- ・建築学科学生が、特設ブックスペース「茶屋町ライブラリー」を制作し、本と人とキャンドルの風景を楽しめるくつろぎの空間を演出。強化ダンボールを使用した、高さ1.2mのアール状(曲線)の本棚を設置。
- ・2016年に梅田キャンパスを開設し、本学も大阪・梅田エリアの地域コミュニティに参画。同イベント初参加。

大阪初夏の夜にやさしいキャンドルの明かりを灯す手伝いをするのは、本学ボランティアセンターを中心とした有志の学生たち。「梅田キャンドルナイト 2017～光のコラボレーション」と題して、15人の学生が、梅田キャンパス前に、「水無月の輝き」をテーマにキャンドルアートを設置します。同作品には、「梅田キャンパスが関大生や社会人の架け橋となり、未来で輝く「関大人」を創出する場になってほしい」という願いが込められています。担当学生らは、「開設して間もない梅田キャンパスを、本活動を通じて周辺地域もろとも活気づけたい」と意気込んでいます。



<デザイン会議で意見を出し合う学生>

また、ビジネス街・商業地域として多くの人が慌ただしく行き交う街中に、ゆっくりと過ごせるスロウな空間を創り出すのは、環境都市工学部建築学科都市設計研究室の学生たち。「ゆったり一日を過ごしてほしい」という思いから、STANDARD BOOKSTOREと協力して、本棚(素材:強化ダンボール)のアイデア考案・設計・製作を手掛けました。街中で立ち止まって本を読める当日限定のブックスペース「茶屋町ライブラリー」は、15:00頃からNU茶屋町プラス北側に設置されます。

つきましては、ご多忙の折恐縮ですが、ぜひ取材のご検討をよろしくお願い申し上げます。

<「1000000人のキャンドルナイト@OSAKA CITY

茶屋町スロウデイ 2017」の概要>

- 【日時】6月1日(木)18:00~22:00 (梅田キャンパス前は20:00まで)
【場所】梅田・茶屋町エリア一帯(梅田キャンパス前、NU茶屋町プラス北側ほか)
【内容】茶屋町エリアの企業や地域団体、行政が集い、同地が持つ魅力への気づきと新たな交流のきっかけとなることを目指す取組み。

以上

※取材をご希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

■本イベント全体に関するお問い合わせ先

実行委員会事務局(株式会社カクタス内)
担当:近藤 Tel.06-6533-3005

■本学の取り組みに関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当:石田、寺崎
Tel.06-6368-0201 Fax.06-6368-1266 www.kansai-u.ac.jp



<「茶屋町ライブラリー」イメージ>
約100冊を配架。本棚素材は強化ダンボールを使用。全ての本表紙を見せ、高さ1.2mでアール状(曲線)にすることで柔らかさを演出。